

# 一斉訓練日は9月4日(日)

市では毎年、防災週間（8月30日～9月5日）期間中の9月4日（日）に、市内一斉の総合防災訓練を実施します。

近年、各地で多発する自然災害……。その被害を最小限にするためには、住民の皆さん一人ひとりの取組と地域の協力が不可欠です。

この機会に、いざという時に取るべき行動と、日頃の災害への備えを確認するよう、お住まいの地域の防災訓練に積極的に参加しましょう！

## みんなで取り組もう減災

### ■家族で防災会議

災害発生時の安否確認や連絡方法、避難場所や非常用持出品を決めていますか？「災害用伝言ダイヤル（177）」の使い方など、実際に家族で話し合っておきましよう。

### ■自宅の耐震、家具の固定等

自宅の安全性を高めるよう、「大地震」では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、家具の固定や向き・配置の見直しや、寝室にはできるだけ物を置かない

いようにするなど、長時間過ごす場所には「安全空間」をつくるようにしましょう。

### ■非常用の備蓄

備蓄品は普段の生活に組み込みながら、ティッシュやトイレペーパー、ラップ、ゴミ袋、ペットボトルの水、缶詰、インスタント食品など、ある程度の量を蓄える中で、順々に古いほうから使って買いつくしていく方法（ローリングストック法）がおすすめです。

## 当日の訓練の流れ

### 避難準備情報

午前7:00



※事前申込み地区のみが対象の訓練です

韮崎市の総合防災訓練では、防災行政無線が2回鳴ります。  
1回目は、午前7時。台風や大雨等を想定した場合の要配慮者（発災時に介助を必要とする方）の優先避難訓練のため、防災行政無線で市内全域に「避難準備情報（訓練情報）」が流れます。この訓練に参加されている方は、福祉避難所に避難を開始してください。

### 地震発生情報

午前8:00



2回目の防災行政無線は、午前8時のサイレン放送（地震発生情報）です。  
地震発生時は机の下にもぐるなど、まずは身の安全を確保して、揺れがおさまったのを確認してから、ドアや窓を開け避難路を確保しましょう。  
家族の安否、火の始末が確認できたら、ラジオやHPなどで情報収集し、避難開始です。

# 参加しましょう防災訓練！

## 家庭の減災チャレンジ

昨年度の防災訓練より、午前8時からの各地区・自主防災会の防災訓練における共通の取り組みとして、参加者一人ひとりが、各家庭、各地区で行う「共通訓練項目（減災チャレンジ）」を決めております。各家庭で次の①②を実践してみましょう。

### ■減災チャレンジ② 漏電ブレーカーの確認

災害時には、停電の復旧時に通電した際、倒れた電気ストーブ等が火元となって火災が発生することがあります。電気の消し忘れや停電復旧後の事故を防ぐために、自宅から避難する時はブレーカーを切ることを認識しましょう。

また、**漏電ブレーカー**は、漏電を瞬時に感知して電気を止め、火災や感電事故から守ってくれる装置です。漏電ブレーカーには**テストボタン**がついていますので、**防災訓練の機会に正しく動作するかチェック**しましょう。



アンペアブレーカー

**漏電ブレーカーのテストボタン**  
※メーカーにより形状等は異なります

### ■減災チャレンジ①

#### ペットボトルを持って避難

実際の避難所では備蓄品の供給が行われませんが、発災直後は混乱するため個人に行き渡るのに時間を要します。避難して直ぐに飲む水を避難所に持参できるように準備しましょう。



### 聴覚障害者の方向けに 災害時支援用バンダナを作成

災害時、慣れない避難所生活を余儀なくされる中で、弱者の方への配慮も忘れてはならない大切な事です。

市ではこの度、聴覚障害者の方が身に着けることで、支援を必要としていることを周囲に知っていただくために、



災害時支援用のバンダナを作成・配布しました。

この防災訓練を機に、市民の皆様にも広くバンダナの存在を知っていただき、地域で手話のできる方など、様々な形で支援の輪が広がるよう、ご協力をお願いします。

■問い合わせ 総務課 防災交通担当 (内線 339・399)



### 避難・訓練開始

#### 各地区訓練



地区ごとに計画された避難誘導・避難所開設等を行う「**初動訓練**」や、住民の避難状況を市の災害対策本部に伝える情報伝達訓練などの「**応急対応訓練**」を実施します。事前に集合場所などを確認の上、地区訓練に参加してください。

※一部地域では9月4日と別日程で行う場合があります。各地区の日程をご確認ください。